

## 公共事業等新規事業評価調書

部課室名	農地整備課 農村環境整備室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	室長(農村環境整備担当) 鈴木 宏一 <small>(課長補佐兼開発係長 二位孝夫)</small>	内線	4027 (4022)
------	------------------	---------------------	--	----	----------------

事業種目	農道	事業名	事業区間	総事業費	約23億円
		農林漁業用揮発油税 財源身替農道整備事業	山崎町蔦沢菅野		
所在地			着工予定年度	完成予定年度	
宍粟郡山崎町宇野～市場			13	17	
事業の目的			事業内容		
山崎町内に設置している基幹農業用施設(ライスセンター、育苗施設、黒大豆乾燥調製施設、農機具庫)へのアクセス道路の新設により、農産物等の搬出入の短縮化、効率化を図るとともに、農村環境を改善し地域の活性化を図る。			道路工 L = 2,540 m W=5.5(7.0)m (内トノ礼工 L = 450 m ) 舗装工 L = 2,540 m 橋梁工 4 箇所 法面保護工、附帯工 1 式		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 農業振興   その他	<p>本県では、国の施策に沿い、本年度から麦・大豆・飼料作物等の本格的な生産の推進に取り組んでいる。西播磨地域においては、JAしそくと近隣8JAが平成13年度に広域合併する予定であり、山崎町蔦沢の基幹農業用施設はこの地域の中核的施設としての役割を担い、水稲や黒大豆の取扱量の大幅な拡大が見込まれる。この基幹農業用施設へは、慢性的な交通渋滞が生じている国道29号線から幅員が狭小で交差点の多い県道内海山崎線を利用するルートしかないため輸送効率が非常に悪く、これを改善する新たなアクセス道路が必要となっている。</p> <p style="text-align: right;">蔦沢地域では、病院・消防署等への距離が短縮され、生活の利便性が図られる。</p>				
(2)有効性・効率性 有効性  代替性  効率性	<p>この農道の整備により、基幹農業用施設への輸送時間などが大幅に短縮され、農産物等の運搬に要する走行費用が節減され、投資効率も1.06となり、事業効果が十分に期待できる。</p> <p>この農道の代替路線として、国道29号線から県道内海山崎線の2車線改良区間までのバイパス案2ルートと市街地迂回ルート案を比較検討した結果、現計画ルートが最も適当である。</p> <p>この農道の整備により、大型車が円滑に通行できる輸送体系が確立され、農産物等の集出荷の効率化につながる。円滑な用地取得に向け、町と地元の協力体制が整っている。</p>				
(3)環境適合性	<p>実施に先立ち環境調査を行い、自然環境への影響を軽減すると同時に、景観にも配慮した工法を採用する。</p>				
(4)優先性	<p>現在の農産物輸送ルートは、輸送効率が非常に悪い。平成13年度のJA合併により基幹農業用施設に集中する農産物などの輸送効率を改善するため新たなアクセス道路を緊急に整備する必要がある。また、地元住民や関係町からの要望も強い。</p>				
評価の結果		左の理由			